


救護施設真和館施設開設20周年記念 (Zoom・ハイブリッド形式)

社会保障と社会福祉講演会

令和8年6月26日 

13:30～16:30 ※入室は13:15からです

社会保障講師

田中 耕太郎先生

 (当法人評議員)

『はじめての社会保障』共著者 ※23版を重ねた福祉を学ぶ人の教科書的な本
元厚生省障害福祉課長、元内閣官房外政審議室内閣審議官
元山口県立大学福祉学部教授・学部長、元放送大学客員教授

社会福祉講師

潮谷 有二先生

 (当法人理事)

社会福祉法人慈愛園理事長・養護老人ホーム慈愛園老人ホーム施設長
元長崎純心大学人文学部教授・学部長
元日本社会事業大学福祉計画学科教授
元厚生労働省社会・援護局総務課社会福祉専門官

救護施設真和館は平成18年(2006年)4月にオープンしましたので、令和8年(2026年)は施設開設から20年になります。

そこで、日頃お世話になっている福祉事務所や福祉施設(救護施設・養護老人ホーム等)の皆様、感謝の気持ちをお伝えするために、救護施設真和館開設20周年記念「社会保障と社会福祉講演会」をZoomで開催することになりました。真和館の簡単な現状報告もさせていただきます。皆様の御参加をお待ち申し上げます。

参加無料です

下記の「QRコード」または「Zoom ID・パスコード」からお入りください



ID : 841 0282 2547
パス : 080626

【主催】 社会福祉法人 致知会 救護施設施設真和館・姉妹施設 養護老人ホームあそ上寿園
【問い合わせ】 〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地 Tel 096-279-1121
(担当: 真和館副施設長 藤本美和子・総務課長 平畑佳朗)

□ タイムスケジュール □

- 13 : 15 開場
- 13 : 30～13 : 50 開会の挨拶及び真和館の紹介
- 13 : 50～15 : 10 【講演1】社会保障について～田中耕太郎先生～
- 15 : 10～16 : 30 【講演2】社会福祉について～潮谷有二先生～
- 16 : 30 閉会の挨拶

※ 進行状況により、お時間が前後しますことをご了承ください

□ 講師からのメッセージ □

◆ (社会保障) 田中 耕太郎先生

皆さん、こんにちは。私は1993年の全国知的障害者スポーツ大会（ゆうあいピック）熊本大会以来の藤本和彦理事長とのご縁で、この20年間、真和館の運営のお手伝いをさせて頂きました。自身は、職業生活のちょうど半分、21年間ずつ行政と大学の現場で仕事をしてきました。今回は、「これまでと、これからの社会保障—社会保険と福祉の再構築—」と題して、これまで医療、介護、年金、福祉、家族政策などの各分野とその全体像について、主にドイツとの比較研究を通じて考えてきた、日本の社会保障の基本的な仕組みと特徴、そして直面している課題と展望などについて、分かりやすく、一緒に考えてみたいと思います。また、医療や福祉の世界の大きな流れとなっている病院や施設から地域生活への移行に関して、ご本人や家族のアドボカシー（権利擁護）の重要性、さらには現在進んでいる成年後見制度の抜本改正や罪を犯した人の立ち直り支援に向けた刑事司法と福祉の連携などの新たな課題についても、お伝えできればと考えています。HPは<https://ktanaka-ssri.net/><コータローの社会保障塾>。若干の時間を一緒にできるのを楽しみにしています。

◆ (社会福祉) 潮谷 有二先生

少子高齢化、人口減少、家族や地域社会の支えあう力が脆弱化する中で、社会福祉のニーズは複雑化、多様化し、専門的かつ包括的な支援が益々必要になってきています。また、昨今の不安定で不確実な国際情勢をはじめ、社会保障制度の累次の見直しによる様々な影響や福祉・介護人材の確保に伴う困難など、社会福祉を取り巻く状況は、今まで以上に厳しく、困難になっていくものと推察されます。

このような状況の中で、社会福祉の実践が持続し、人々の福祉の向上に寄与していくためには、社会福祉における政策と実践との循環的関係/相互作用関係を視野に入れた取組が必要になってきます。そのような観点から、本講演では、日本における社会福祉の動向、社会福祉の理論的枠組みを踏まえつつ、社会福祉における政策と実践との関係、専門職の役割、これからの支援の在り方等について論じることができれば良いなと思っています。